

JILPT 調査シリーズ

No.129

2014年10月

職業資格の取得とキャリア形成に関する調査 (WEB調査結果の概要)

The Japan Institute
for
Labour Policy and Training

独立行政法人 労働政策研究・研修機構



職業資格の取得とキャリア形成に関する調査 (WEB調査結果の概要)

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

The Japan Institute for Labour Policy and Training

まえがき

技術や経済環境が急速に変化する中で、個人の職業生涯は長期化しており、労働者自らが主体的に自己の能力開発やキャリア形成に取り組む必要性が高まっている。

このため、国においても個人主導の能力開発、特に非正規雇用労働者も含めた労働者のキャリアアップ、キャリアチェンジを支援するための措置について検討が行われ、労働政策審議会職業能力開発分科会では「中長期的なキャリア形成支援措置の対象とする教育訓練について」（2013年12月27日）が取りまとめられた。この報告書で示された方向性に基づき、職業に不可欠・重要な資格の取得をめざす訓練や、企業と連携した教育訓練機関で特に実践的な専門能力を身につけるケースなど、新たなキャリアの展開や可能性の拡大を考えている人を支援する教育訓練給付の拡充が図られることとなった。

この新たな支援制度（「中長期的キャリア形成支援措置」）の利用に当たっては、個人が効果的な教育訓練を選択できるよう、キャリア・コンサルティングを受けることとされており、このため、制度の施行までに資格等に関する知識を有するキャリア・コンサルタントを養成・確保することも急務となった。そこで、厚生労働省の要請を受け、独立行政法人労働政策研究・研修機構で、2014年3月に「職業資格の取得とキャリア形成に関する調査」を実施し、職業能力開発支援を行うキャリア・コンサルタントの研修及び相談・援助における情報提供に活用する資料となるデータの収集を行った。

本書は、この調査結果に基づき、①職業資格を取得した人がどのような意識や方法で取得のための活動を行い、どのような課題があったか、②自らの職業資格についてどのように評価しているか、③仕事をしながら資格を取得したケースでは働き方や処遇に変化がみられたか、④仕事を辞めて取得活動を行ったケース等については就職活動に効果があったか、⑤これから職業資格を取得したいと考えている人の意識やニーズはどのようなものか、等について概要を取りまとめたものである。職業能力開発支援を行うキャリア・コンサルタント及び資格取得をめざして教育訓練の受講を検討中の方々、職業資格の取得に関心を寄せておられる方々の参考となれば幸いである。

2014年10月

独立行政法人 労働政策研究・研修機構
理事長 菅野和夫

調査の企画・実施担当者（50音順）

氏 名

所 属

かなざき ゆきこ
金崎 幸子

労働政策研究・研修機構 人材育成部門 統括研究員

こすぎ れいこ
小杉 礼子

労働政策研究・研修機構 特任フェロー

ふじもと まこと
藤本 真

労働政策研究・研修機構 人材育成部門 副主任研究員

※ 本報告書は主に金崎幸子がとりまとめた。

目 次

第1章 調査の概要	1
第2章 調査結果の概要	4
第3章 資格を取得したときの状況	10
第4章 働きながら資格を取得した人の状況	24
第5章 就職活動と職業資格	32
第6章 複数資格を所持している人の状況	36
第7章 資格取得に対する評価、追加取得の予定	37
第8章 これから資格を取得したい人のニーズと意識	42
第9章 まとめ	49
付表	51
資料編	
資格別概況（85 資格区分）	56
調査票	229